

7つの提言に関する取組み

No.	提言	事業計画	令和3年度実績
1	ホールや文化センターに蓄積された強み等を活かした新宿文化センターのイメージ・発信力の強化	① 指定管理事業としての施設活用事業を15公演程度、参加協働事業を6公演程度、財団の公益事業として芸術鑑賞機会の提供を7事業、実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「パイプオルガン活用事業」や「ランチタイムコンサート」などの施設活用事業を17公演（うち9公演は誘致型事業）、「国際都市新宿・踊りの祭典」などの参加協働事業を2公演開催し、17,453人の来場がありました。 ・芸術鑑賞機会の提供事業として7事業を実施し、3,037人の来場がありました。
		② 文化センターの利用団体の協力を得て、区民招待を積極的に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・10団体の協力を得て、19公演に対し1,172人の新宿区民を招待しました。
2	開設時の施設利用方針の緩和・見直し、より多くの区民に支持される公演の選択や入場者を意識した公演誘致、20代・30代の年齢層への認知度アップ	① 「新宿ファッションフィールド」をより広い会場で開催し、区内外の20代、30代の服飾系専門学校生等の知名度を高めるよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ファッションショー形式のコンテストの実施は見送り、プレゼンテーション形式で開催としました。応募は、全国から2,532点にのぼり、審査により受賞者を決定しました。審査結果の発表および講評は広報紙とウェブサイトで行いました。
		② 平成22年度に締結した「早稲田大学交響楽団」とフランチャイズ協定を継続し、相互協力をする中で文化センターの若年層への知名度向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽団から財団主催事業への協力として、「ワセオケ避難訓練コンサート2021緊急時安全確認コンサート」への出演を依頼し、4月に開催。546人の来場がありました。 ・財団から楽団への協力として、展示室等を練習会場として提供し、年間19回の練習利用がありました。
3	文化芸術団体の活用・発表の場、練習・稽古場の不足の声に応えた新宿文化センターの施設を積極的に提供していく仕組みづくり	① 登録文化団体等の減額、免除を行い、活動の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・登録文化団体等の活動を支援するため、施設及び附帯設備利用について、年間1,690件の利用料金減免を実施しました。 ・登録文化団体から要望や意見を伺うため、11月に利用者懇談会を実施し、14団体の参加がありました。
		② 40回目を迎える新宿区合唱連盟の合唱祭「初夏に歌おう」の実施を支援し、加盟団体の発表の場を積極的に提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「初夏に歌おう」を6月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

No.	提言	事業計画	令和3年度実績
4	大ホール、展示室、会議室などをフルに活用する事業、文化月間・文化ウィークによる通し活用や提案型利用、文化センター界隈の施設の拠点として周辺施設と一体となった事業の展開	① 区内外の多くのジャズ愛好家が集まり、文化センター全館を使用する「新宿春のジャズまつり」を引き続き開催します。	・「新宿春のジャズまつり」を5月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。
		② 区内在住の外国人と日本人が舞踊の発表を通じて交流を図る「国際都市新宿・踊りの祭典」を、文化センター全館で開催します。	・「国際都市新宿・踊りの祭典」では、40団体が日ごろの練習の成果を発表し、延べ1,627人の来場がありました。
		③ 新宿駅周辺の商店会が中心となって行われる「新宿エイサーまつり」と連携、協力して「沖縄音楽フェスティバル」を開催します。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため「新宿エイサーまつり」は中止となりましたが、「沖縄音楽フェスティバル」は開催時期を秋に、会場を小ホールに変更して実施し、103人が来場しました。
5	新宿の地域特性を活かした開館時間の拡大	① 定期休館日の変更や、大小ホール利用における特別時間延長の対応など利用者のニーズに対応します。	・定期休館日の変更はありませんでした。 ・大小ホール利用者の準備あるいは撤収のための特別時間延長は、年間18件実施しました。
6	鑑賞モニター・友の会・地域との連携など参加協働型の施設運営	① 区民のニーズを捉えるため、公演ごとに利用者アンケートを実施します。	・指定管理事業9事業でアンケートを実施し、その結果は今後の公演企画の参考として取り扱います。
		② 合唱愛好家を募り、練習を重ね大ホールにて発表の場を提供する「区民合唱団の運営」を引き続き行います。	・「区民合唱団の運営」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送りました。
		③ 新宿文化センター開催の主催事業をWeb上から予約できる「チケットWeb会員」及び年会費を払って割引をはじめ各種特典のある「新宿文化センター友の会」の会員数の増大を図るとともに、更なるサービスの拡充を検討し、実施します。	・令和4年3月末までに「チケットWeb会員」は10,563人、「新宿文化センター友の会」は196人の登録がありました。
		④ 区内の学生の音楽団体が一堂に集まり、音楽を通じて交流する「新宿ユース・ステージパフォーマンス」を開催します。	・「新宿ユース・ステージパフォーマンス」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

No.	提言	事業計画	令和3年度実績
6	鑑賞モニター・友の会・地域との連携など参加協働型の施設運営	⑤ 「初夏に歌おう」をはじめとする、地域との連携・参加協働型事業を実施します。	・「初夏に歌おう」（新宿区合唱連盟との共同主催）などは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、「沖縄音楽フェスティバル」（新宿駅周辺商店会との連携）は開催時期を秋に、会場を小ホールに変更して実施しました。
7	音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等、演目の特性に合わせた文化センターと区民ホール等との連携	① 「新宿エイサーまつり」と連携して「沖縄音楽フェスティバル」を実施します。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため「新宿エイサーまつり」は中止となりましたが、「沖縄音楽フェスティバル」は開催時期を秋に、会場を小ホールに変更して実施しました。